

世界摂食障害アクションデイ 2018

— World Eating Disorders Action Day 2018 —

アスリートの 摂食障害を考える

摂食障害は、軽症のものを含めると、若い女性の約1割が拒食症や過食症などの摂食障害の症状を持っていると考えられています。適切な検査や治療を受けられないと命に関わる合併症が起こったり、身長が伸びない、骨粗鬆症、歯の喪失などの後遺症も残ったりします。妊娠や出産に影響することもあります。

スポーツにおいては、2020年東京オリンピック・パラリンピックを控え、競技スポーツはますます盛んになっています。ジュニア世代、女性アスリートの育成も強化され、更なる活躍が期待されています。しかし、選手のスタイルや体重が競技の判定や記録に影響を及ぼしやすい体操、アイススケート、陸上などの競技では、若い女性アスリートでは「アスリートの3主徴」と呼ばれる、やせ、無月経、骨折が多く、摂食障害の有病率は一般女性の3倍と報告されています。残念ながら、競技成績を重視するあまり、健康やカラダ作りに注意を払わず、本来のパフォーマンスを発揮できずに結果が残せないまま、力がありながらも引退してしまう選手も多いのが現状です。

今年に入り、海外ではアイススケート選手が摂食障害が原因で引退が続き、日本ではクレプトマニア（窃盗症）につながる残念な事件も起きています。

特に、女性アスリートに対する支援の在り方についてはいまだ研究・開発の途上にあります。女性のからだ、摂食障害の特徴を知って、ジュニア世代、女性アスリートへどのように指導していくか、摂食障害の現在の取り組み、今後どうバックアップしていけるかなど、行政、国、関連学会、関連協会としてそれぞれの立場から発表、考えていきます。

2018年

6月2日(土)

13:00~15:30

(12:30 開場)

入場 **無料**

定員 **300**名

(要申込・先着順)

会場 政策研究大学院大学 想海楼ホール

東京都港区六本木7-22-1

都営大江戸線 六本木駅7番出口より徒歩5分

東京メトロ日比谷線 六本木駅4A出口より徒歩10分

東京メトロ千代田線 乃木坂駅5出口より徒歩6分

参加申込

スマートフォン・パソコン・FAXで申込み

※詳しくはチラシ裏面をご覧ください

日本摂食障害協会



主催 一般社団法人 **日本摂食障害協会**

Supported by  **日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION**

共催：特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会

協力：公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 特別後援：日本財団

後援：東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部、法務省、厚生労働省、スポーツ庁、東京都、港区、独立行政法人日本スポーツ振興センター国立スポーツ科学センター、公益財団法人日本オリンピック委員会、公益財団法人日本医師会、公益社団法人日本栄養士会、公益社団法人日本産婦人科医会、公益社団法人日本産科婦人科学会、公益社団法人日本女医会、公益社団法人日本小児科学会、公益社団法人日本精神神経学会、公益社団法人日本栄養・食糧学会、公益社団法人日本歯科医師会、一般社団法人日本女性心身医学会、一般社団法人日本心身医学会、一般社団法人日本心理臨床学会、一般社団法人日本体育学会、一般社団法人日本体力医学会、一般社団法人日本臨床心理士会、一般社団法人日本臨床栄養学会、一般社団法人スローカロリー研究会、一般社団法人日本社会精神医学会、一般社団法人美容サロン協議会、特定非営利活動法人日本心療内科学会、特定非営利活動法人日本スポーツ栄養学会、特定非営利活動法人日本栄養改善学会、日本摂食障害学会、日本スポーツ精神医学会、日本トレーニング指導学会、女性スポーツ医学研究会、ランニング学会（順不同）

講演会 13:00 ~ 15:30

III ご挨拶

日本摂食障害協会 理事長 生野 照子 先生

神戸女学院大学名誉教授、大阪メンタルヘルス総合センターセンター長、社会医療法人なにわ生野病院心療内科部長、大阪市立大学医学部非常勤講師、ストレス疾患治療研究所所長、2016年3月に日本摂食障害協会を設立時に理事長に就任。2017年、公益社団法人日本女医会吉岡彌生賞を受賞。

日本摂食障害協会 特別顧問 江利川 毅 先生

公益財団法人医療科学研究所理事長。公立大学法人埼玉県立大学前理事長、元人事院総裁、元厚生労働事務次官、元内閣府事務次官。2016年3月に日本摂食障害協会を設立時に特別顧問に就任。2017年春の叙勲で、瑞宝大綬章を受章。

III 日本摂食障害協会の活動発表

- ・2017年活動報告、2018年活動予定
- ・日本における就労調査
- ・無料相談窓口の状況

III アスリートの摂食障害に関する現状の活動や今後の動き

【基調講演】

オリンピックメダリストの指導者が語る

「思春期アスリートに忍び寄る摂食障害の影」

講師：山内 武 先生

大阪学院大学 ランニング学会 理事
特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会 監事

【登壇者】

- 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部精神・障害保健課 心の健康支援室長補佐 溝口 晃 様
- 独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立スポーツ科学センター 真石 万衣子 先生
- 一般社団法人スローカロリー研究会 理事長 宮崎 滋 先生
- 摂食障害全国基幹センター センター長 安藤 哲也 先生
- 一般社団法人日本摂食障害協会 サポーター 井口 萌 様、染原 風生 様

参加申込方法

1 スマートフォン・パソコンでお申込み

一般社団法人日本摂食障害協会のホームページ <https://www.jafed.jp/world-eating-disorders-action-day/> または右のQRコードよりアクセスしていただき、必要事項をご入力の上、お申込みください。参加証等はございませんが、返信のメールを印刷いただくか、スマートフォンなどをご持参いただき、受付でご提示ください。



2 FAXでお申込み

氏名(ふりがな)、所属(会社名・部署)、参加人数、電話番号、メールアドレスをご記入の上、03-5226-1089 までお送りください。ご登録頂きましたメールアドレス宛に登録メールをお送りしますので、印刷いただくか、スマートフォンなどをご持参いただき、受付でご提示ください。

※定員に達した場合は申し込みを終了させていただきますので、予めご了承ください。
※フリーアドレスやパソコン環境で受診できるアドレスを推奨します。携帯アドレスの場合はjafed.jpのドメインを解除してください。

世界摂食障害の日 – World Eating Disorders Action Day –

摂食障害に関わる世界中の人々が、インターネットや地域活動を通じて同時に発言や行動、情報提供します。摂食障害に関心のある方ならどなたでも参加できます。

【公式HP】 <http://www.worldeatingdisordersday.org>

【日本語による解説】 <https://www.jafed.jp/world-eating-disorders-action-day>

同日開催

世界摂食障害アクションディ特別企画

上映会 & 討論会

6月2日(土) 16:00 ~ 19:00
政策研究大学院大学 想海楼ホール
入場：無料

- 『空(カラ)の味』(2016年公開) 上映会
- 当事者、家族、治療者の討論会 ~医療や家族ができること、できないこと~



※詳細は上映会用チラシをご覧ください

会場へのアクセス

- 都営大江戸線六本木駅 7番出口より徒歩5分
- 東京メトロ日比谷線 六本木駅4A出口より徒歩10分
- 東京メトロ千代田線 乃木坂駅5出口より徒歩6分



お問い合わせ

一般社団法人 日本摂食障害協会
Japan Association for Eating Disorders

〒102-0094
東京都千代田区紀尾井町 3-33 2F
TEL 03-5226-1084 FAX 03-5226-1089
Eメール info@jafed.jp
HP www.jafed.jp

